

2021年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月13日

上場会社名 株式会社スタジオアリス 上場取引所 東
 コード番号 2305 URL http://www.studio-alice.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧野 俊介
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 中井 俊宏 TEL 06-6343-2600
 四半期報告書提出予定日 2020年7月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第1四半期の連結業績（2020年3月1日～2020年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第1四半期	4,250	△52.6	△1,956	—	△1,974	—	△1,858	—
2020年2月期第1四半期	8,971	1.1	103	△27.9	110	△23.3	△127	—

(注) 包括利益 2021年2月期第1四半期 △1,933百万円 (—%) 2020年2月期第1四半期 △143百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第1四半期	△109.40	—
2020年2月期第1四半期	△7.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第1四半期	37,833	21,967	55.1
2020年2月期	34,591	24,749	68.2

(参考) 自己資本 2021年2月期第1四半期 20,840百万円 2020年2月期 23,605百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2021年2月期	—	—	—	—	—
2021年2月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 2021年2月期配当予想につきましては、現時点では未定です。

3. 2021年2月期の連結業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 2021年2月期の連結業績予想につきましては、現時点では適正かつ合理的な算定が困難であることから、開示しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期1Q	17,185,650株	2020年2月期	17,185,650株
② 期末自己株式数	2021年2月期1Q	201,485株	2020年2月期	201,485株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期1Q	16,984,165株	2020年2月期1Q	16,984,166株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

新型コロナウイルスの影響で合理的に算定することが困難なため未定としております。なお、開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、多くの企業活動や消費動向に影響を与え、依然として終息が見えないことから景気の先行きが見通せない状況となっております。

当社グループにおける新型コロナウイルス感染拡大の影響による店舗の状況につきましては、4月7日に発令された緊急事態宣言対象区域である7都府県（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・大阪府・兵庫県・福岡県）内全ての240店舗で4月11日から臨時休業し、その後、4月16日に緊急事態宣言の対象区域が全国に発令されたことを受け、4月20日から全都道府県内の489店舗を臨時休業いたしました。当第1四半期連結累計期間末時点では、安全対策を万全にした上で481店舗が営業を再開しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,250百万円（前年同期比52.6%の減少）、営業損失は1,956百万円（前年同期は103百万円の営業利益）、経常損失は1,974百万円（前年同期は110百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,858百万円（前年同期は127百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

(写真事業)

写真事業は、入園入学・卒園卒業撮影、並びに、お節句撮影等の推進に取り組んでまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のための外出自粛や、同ウイルスの感染拡大防止を目的とした緊急事態宣言の発令に伴う全店舗の臨時休業により、撮影件数は前年同期間を下回りました。

国内子ども写真館の出店状況は、ショッピングセンター内の区画移動を含む改装を15店舗実施し、退店4店舗を行いました。

その結果、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、国内子ども写真館489店舗（直営店舗480店・フランチャイズ店舗9店）、韓国の子会社における子ども写真館2店舗を含め、491店舗となっております。

以上の結果、写真事業の売上高は4,237百万円（前年同期比52.4%の減少）、セグメント損失は1,945百万円（前年同期は111百万円のセグメント利益）となりました。

(衣装製造卸売事業)

衣装製造卸売事業は、連結子会社の株式会社豊匠、および、その子会社である上海豊匠服飾有限公司において、当社向け衣装の更なる生産効率の向上によるコスト低減を図るとともに、当社が2020年1月にスタートした新たな振袖レンタルサービス（『ふりホ』）に関わる衣装・小物の調達に注力いたしました。

以上の結果、衣装製造卸売事業の売上高は955百万円（前年同期比46.2%の増加）、セグメント利益は150百万円（前年同期比40.4%の増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ3,242百万円増加し37,833百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の増加等により、前連結会計年度末と比べ2,195百万円増加の17,403百万円となりました。

固定資産は、投資その他の資産「その他」に含まれる繰延税金資産の増加等により、前連結会計年度末と比べ1,046百万円増加の20,429百万円となりました。

② 負債の状況

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ6,024百万円増加し15,865百万円となりました。

流動負債は、新型コロナウイルス感染拡大による影響により、企業活動の混乱や停滞等が継続するような不測の事態に備えて、手元資金を厚くすることを目的に行った短期借入金の増加等により、前連結会計年度末と比べ5,622百万円増加の11,550百万円となりました。

固定負債は、固定負債「その他」に含まれる長期リース債務の増加等により、前連結会計年度末と比べ401百万円増加の4,315百万円となりました。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ2,782百万円減少し21,967百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び前連結会計年度の剰余金の処分（配当金支払い）等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を踏まえ、連結業績予想および配当予想につきましては、現時点では未定としております。

なお、開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,072,650	13,598,391
受取手形及び売掛金	838,574	567,835
たな卸資産	1,803,783	1,587,790
その他	1,523,508	1,662,571
貸倒引当金	△30,000	△13,000
流動資産合計	15,208,516	17,403,588
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,302,333	8,116,539
その他(純額)	4,377,273	4,904,579
有形固定資産合計	12,679,606	13,021,118
無形固定資産	991,874	925,939
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,316,671	3,321,404
その他	2,616,532	3,383,199
貸倒引当金	△222,000	△222,000
投資その他の資産合計	5,711,204	6,482,604
固定資産合計	19,382,685	20,429,662
資産合計	34,591,201	37,833,250
負債の部		
流動負債		
買掛金	240,225	168,691
短期借入金	—	7,050,000
未払法人税等	581,165	114,781
賞与引当金	182,332	89,100
ポイント引当金	92,500	93,260
その他	4,831,377	4,034,645
流動負債合計	5,927,600	11,550,479
固定負債		
退職給付に係る負債	1,102,910	1,123,566
資産除去債務	1,651,339	1,641,712
その他	1,159,502	1,550,140
固定負債合計	3,913,753	4,315,419
負債合計	9,841,353	15,865,898

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,885,950	1,885,950
資本剰余金	2,055,449	2,055,449
利益剰余金	19,866,198	17,158,968
自己株式	△276,159	△276,159
株主資本合計	23,531,438	20,824,208
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,407	△38,074
為替換算調整勘定	73,058	54,140
その他の包括利益累計額合計	74,465	16,065
非支配株主持分	1,143,944	1,127,077
純資産合計	24,749,848	21,967,351
負債純資産合計	34,591,201	37,833,250

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
売上高	8,971,547	4,250,454
売上原価	6,826,439	4,787,078
売上総利益又は売上総損失(△)	2,145,108	△536,623
販売費及び一般管理費	2,041,216	1,420,038
営業利益又は営業損失(△)	103,891	△1,956,662
営業外収益		
受取利息	552	598
受取家賃	5,599	5,458
為替差益	-	2,547
助成金収入	-	7,985
雑収入	9,243	13,067
営業外収益合計	15,396	29,657
営業外費用		
支払利息	3,679	6,861
店舗解約損	4,129	40,439
為替差損	189	-
雑損失	529	505
営業外費用合計	8,528	47,806
経常利益又は経常損失(△)	110,760	△1,974,810
特別利益		
固定資産売却益	-	610
特別利益合計	-	610
特別損失		
固定資産廃棄損	79,125	61,955
減損損失	110,502	73,840
新型コロナウイルス感染症による損失	-	496,665
特別損失合計	189,627	632,461
税金等調整前四半期純損失(△)	△78,867	△2,606,661
法人税、住民税及び事業税	106,226	77,544
法人税等調整額	△73,899	△809,317
法人税等合計	32,326	△731,773
四半期純損失(△)	△111,194	△1,874,888
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	16,209	△16,866
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△127,403	△1,858,022

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
四半期純損失(△)	△111,194	△1,874,888
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,996	△39,482
為替換算調整勘定	△23,325	△18,917
その他の包括利益合計	△32,321	△58,400
四半期包括利益	△143,516	△1,933,288
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△159,725	△1,916,422
非支配株主に係る四半期包括利益	16,209	△16,866

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

2020年4月7日に新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が政府から発表され、4月16日には緊急事態宣言が全国に拡大されたことにより、全国の当社店舗は臨時休業となりました。5月14日の緊急事態宣言解除以降、安全対策を万全にした上で順次営業を再開しており、ご予約数も昨年並みに回復いたしました。

このような状況のなか、記念写真需要はゆるやかに回復していくものと仮定しておりますが、感染拡大前の水準まで回復するには12月まで要するものと想定し、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積り及び仮定と異なる可能性があります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,904,875	66,672	8,971,547	—	8,971,547
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,463	587,314	592,778	△592,778	—
計	8,910,339	653,987	9,564,326	△592,778	8,971,547
セグメント利益	111,895	106,890	218,786	△114,894	103,891

(注) 1. セグメント利益調整額△114,894千円には、固定資産の調整額等△59,265千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△55,629千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては110,502千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2020年3月1日 至2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,233,989	16,464	4,250,454	—	4,250,454
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,983	939,531	943,515	△943,515	—
計	4,237,973	955,996	5,193,970	△943,515	4,250,454
セグメント利益又は損失(△)	△1,945,887	150,081	△1,795,806	△160,855	△1,956,662

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)調整額△160,855千円には、固定資産の調整額等△109,499千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△51,356千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては73,840千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。